

研究対象者への通知・公開の手引

内視鏡治療の際に
救命救急部でも治療も受けられた方へ

単施設後方視的観察研究

研究責任者・研究事務局

独立行政法人国立病院機構京都医療センター 消化器内科

医師 浅野陽一

内線：7827

Mail：asano.y.11@gmail.com

2026年1月5日 オプトアウトコンセプト作成

2026年2月18日 オプトアウト ver 2.0 作成

1.課題名

内視鏡周術期管理における救命救急部の介入の有効性の検討

2.研究対象者

2023年1月1日から2025年12月31日までに、当院で内視鏡診療の前後および処置中に急変時対応要請（ドクターハート）がなされた患者様を対象とします。

研究協力をお願い

独立行政法人国立病院機構京都医療センターにおいて上記課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方の当院で既に保有している臨床情報を調査する研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。情報等の使用について、直接に説明して同意はいただきず、このお知らせをもって公開いたします。対象となる方におかれましては、研究の趣旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

この研究への参加（資料・情報提供）を希望されない場合、あるいは、研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

3.研究の概要について

研究課題名

内視鏡周術期管理における救命救急部の介入の有効性の検討：単施設後方視的観察研究

研究期間

当院倫理委員会承認後～2026年12月31日

研究機関・実施責任者：

独立行政法人国立病院機構京都医療センター 消化器内科
医師 浅野陽一

4.研究の目的について

内視鏡診療における周術期管理は、患者様の安全のみならず、医療チーム全体の安心にも直結する重要な要素です。近年は高齢化の進行や鎮静剤使用の増加に伴い、より慎重な対応が求められる場面が増加しています。当院では、急変時に救急専門医からなるチームが迅速に対応する体制を整えており、救命処置を要する患者への介入から集中治療室への移送までが円滑に実施されます。第116回日本消化器内視鏡学会近畿支部例会において、「内視鏡周術期の最前線」と題したワークショップが予定されており、当院の内視鏡部門と救命救急部門の協力体制によって対応し得た経験を報告することで、内視鏡治療の際の安全性向上に

寄与する有益な知見を提供できるものと考え、本研究を立案しました。

5.研究の方法について

2023年1月1日から2025年12月31日までに、当院で内視鏡診療の前後および処置中に急変時対応要請（ドクターハート）がなされた患者様を抽出し、救命救急部の介入が有効であった事例を個別に検証します。

【利用する資料や情報】

- ・疾患名、治療日、年齢、性別、身長、体重
- ・急変時対応要請があった理由
- ・急変時対応の内容
- ・血液検査所見、画像検査所見、内視鏡所見、治療後経過

6.個人情報の取扱いについて

研究にあたっては、個人を容易に同定できる情報は削除したり関わりのない記述等に置き換えたりして使用します。また、研究を学会や論文などで発表する時にも、個人を特定できないようにして公表します。

7.研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。

8.研究計画書等の入手または閲覧について

本研究の対象となる方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。

9.利用または提供の停止について

研究対象者又はその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用（又は他の研究への提供を）停止することができます。停止を求められる場合には、（2026年6月1日までに）下記（10）にご連絡ください。

10.問い合わせ等の連絡先

独立行政法人国立病院機構京都医療センター 消化器内科

医師 浅野 陽一

〒612-8555 京都市伏見区深草向畑町 1-1

TEL： 075-641-9161(代表)

FAX： 075-643-4325